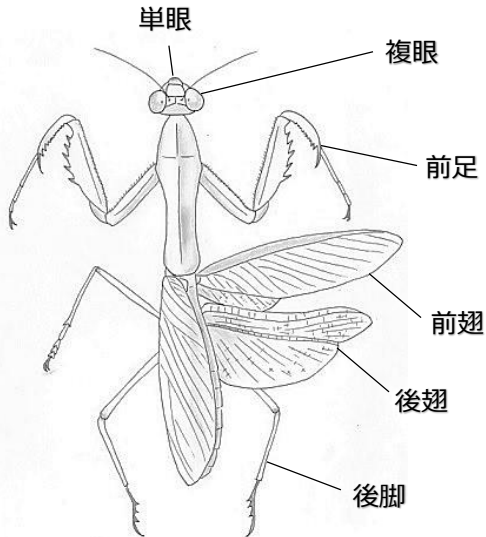




とねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した軽部忠志さんのつづやき】 育てばいいなあと思った柿の種を庭に埋めたら、見事に柿の木が育ち、茂ったその柿の葉にカマキリの姿があったのでシャッターを切りました。



名称：カマキリ（螳螂）
 学名：Mantodea
 体長：60-90mm
 時期：7-10月
 種類：約2000種類
 分布：北海道、本州、四国、九州
 生態：不完全変態
 主食：チョウ、バッタ、コオロギ等
 天敵：ハリガネムシ

【最大の武器である鎌を活かすのは、驚きの反応速度！】

○カマキリといえば、やはり最大の特徴はあの大きな鎌です。しかし、その大きな鎌もただ振り回すだけではいつまで経っても獲物を捕らえることができません。

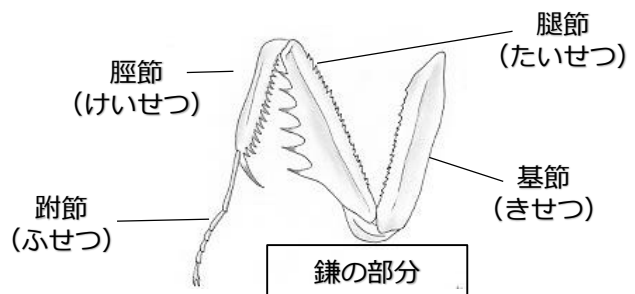
実は、カマキリはあの大きな鎌を活かせる敏捷さがあるのです。

獲物を捕らえるスピードはなんと1/20秒！ハエやバッタなどの素早い動きにも負けない速さです。鎌はギザギザで上下が噛み合うようになっているので、食い込んで獲物が逃げられないようになっています。さらにその鎌のパワーは人間に換算すると約3トン以上のパワーが発生しているのです。そうです、カマキリの鎌は素早い反応速度とすさまじいパワーがあるからこそ、最大の武器なのです。

そして、鎌は武器として使われるだけではありません。カマキリが目をこするような仕草をするのをご存知でしょうか？例え

ば、カマキリの目に細かい粉をかけると目をこするような仕草をします。これは鎌についている毛をブラシがわりにして目をきれいに行っているのです。常に目をきれいにし、良く見える状態で、獲物を捕捉するのです。

あと、カマキリには鎌だけでなく翅（はね）もあるのですが、飛行が苦手な短距離を直線的に飛ぶので精一杯です。むしろ翅を扇状に広げて威嚇に使うことの方が多いようです。



『 舎人図書館にある参考資料の一部を紹介 ↓ 』

今森光彦 『やあ！出会えたね カマキリ』 アリス館

筒井学 『カマキリの生き方 さすらいのハンター』 小学館

栗林慧 『カマキリのかんさつ 科学のアルバム』 あかね書房

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！